



# 千年さんごちゃん通信



千年サンゴと生きるまちづくり協議会 平成31年2月発行

徳島県南部の牟岐大島内湾に生息する巨大なコブハマサンゴは、地域の人たちから「千年サンゴ」の愛称で呼ばれ、水深約23mの海底からクリスマスツリーのような格好でそびえたっています。その高さは、約9m、外周約30m、年齢は千年をはるかに越えると推定されており、世界最長寿の可能性を持つ希少なサンゴです。



## 会長あいさつ

千年サンゴと生きるまちづくり協議会は、平成23年7月15日に地域の住民や団体、行政等が協働して千年サンゴを守る活動をすすめながら、豊かな自然を活かし、地域活性化につなげることを目的に設立しました。

これまで、千年サンゴをはじめ牟岐大島周辺の環境調査やオニヒトデなどのサンゴ有害生物の駆除（保全活動）を行うほか、サンゴ保全に携わる次世代の担い手育成や地域特有の自然環境を活かしたまちづくりにも取り組んでまいりました。

このたび、当協議会活動を皆さまにより身近に知っていただくために、会報誌を発行するのはこびとなりました。

今後も、希少な自然の宝である千年サンゴを守る活動を続けてまいりますので、ご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

浅香 新八郎

サポーター会員の皆さまにはご支援いただきありがとうございました。  
皆さまからの会費をもとに、つぎのような活動を行っています。

## サンゴを守る活動



サンゴ食害生物を駆除するだけでなく、千年サンゴをここまで守り育てた海の環境を調べることも、サンゴを守り生物多様性を守ることにつながります。平成26年からは千年サンゴ周辺において小型サンゴの生育状況や、海藻の種類などの経年的な変化を調査しています。

近年、海水温の上昇によって、サンゴを食べるオニヒトデやサンゴ食巻貝（サンゴ食害生物）が急激に増え、大島周辺のサンゴに大きな被害をもたらしています。このため、千年サンゴに被害が及ばないようにサンゴ食害生物の駆除（保全活動）を行っています。



## まちづくり活動



協議会PRゆるキャラの「千年さんごちゃん」は、千年サンゴを守る活動を応援するために現れたサンゴの妖精です。勝浦町のさくらまつりなど、いろいろなイベントに参加しています。あなたの町に現れたときは、ぜひ会いにきてね！

県南の海に親しみながら、生物多様性の魅力を知ってもらうために、平成29年から親子を対象としたシュノーケリング体験を行っています。

子どもたちに海の魅力を知ってもらうために今後も続けていきたいと思えます。機会があれば、ぜひご参加ください。



詳しくは協議会HP <http://www.sennensango.com> をご覧ください。

千年サンゴと生きるまちづくり協議会 事務局  
徳島県南部総合県民局保健福祉環境部（阿南）環境担当内  
電話番号 0884-28-9858



※ 当協議会の活動は、TOYO TIREグループ環境保護基金の助成を受けています。